

こんにちは
私は正義実現委員会の
一年生トリ子です(仮名)

これは私が
体育倉庫で休憩中に
別の誰かが体育倉庫に
入室してきた時の話です

あわわ...

私はとつさに
跳び箱に
隠れてしまいました

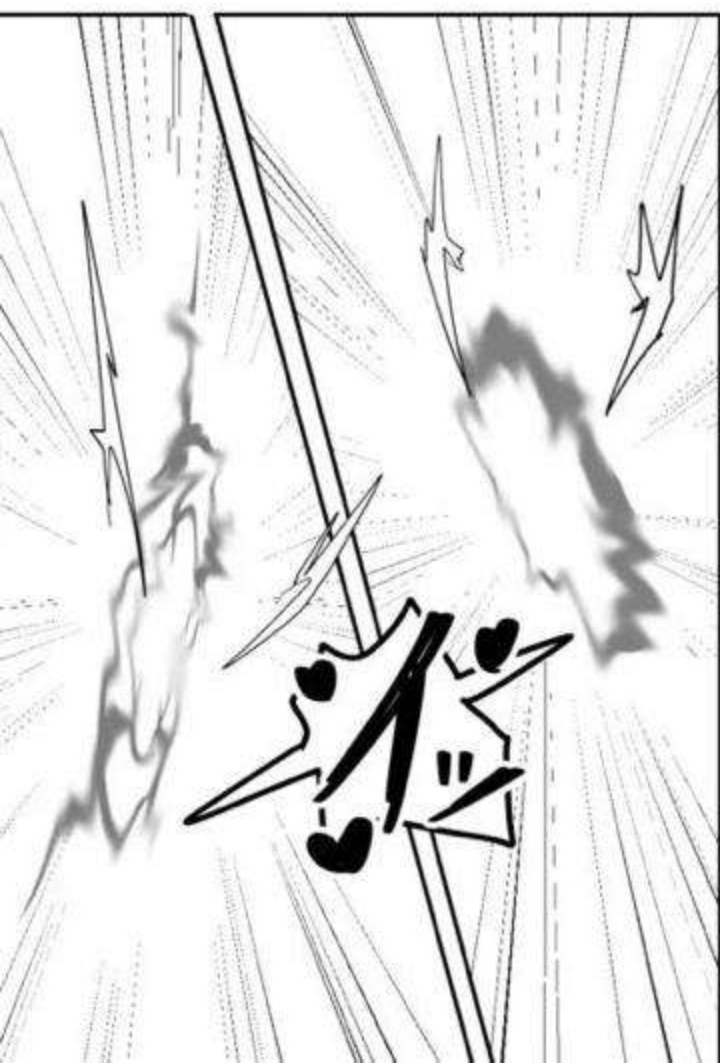
今思えば
普通にしていれば
何もなかったはずなのに

すぐに女性の甘美な声が
聞こえてきました
それはよく知っている
先輩の声でした

先生
気持ちいいですよ

だけど...
一度も聞いた事の
無い声でした







その後お二方は
てきぱきと掃除を
して出ていかれました

その夜
先輩から
モトトークで
連絡がありました
「ごめんね」と
次奢ってくれる
約束でした

嬉しかった…

…でも
私にとってこの思い出は
どういう感情
なのでしょう？
わかりません

でも永遠に忘れる事は
ないでしょう…
そう永遠に…